東中央病院職員学習会自分の言葉で語ろう一平和・憲法



2012年8月22日 岡山県労働者学習協会 長久啓太 blog/twitter/facebook ←名前で検索

1.平和の課題とは何か

岡山で暮らす私たち・・・







「戦争」「軍隊」を身近に感じることって、ありますか??

「無関心」でも、平和のなかで生きていける(今のところは)。



仕事は忙しいし・・・

毎日の生活もあるし。

楽しいこともいっぱい。

戦争のことなんか、あえて考えたくない気持ちもよくわかる。だって、しんどい。

私をつき動かしたのは、「当事者の声」

眞實井房子(ますいふさこ)さんの被爆証言「ざんげ」

(東京都原爆被害者団体協議会<東友会>のホームページより抜粋)



私が着いた場所は、三滝の川、幅は百メートル以上、3分の1は水が流れていますが、3分の2は、荒れた川原です。そこには浅く細い流れがいく筋も縦横にはしっていますが、いま目の前で、その流れという流れに、折り重なって人びとが顔をつっ込んだまま死んでいるのです。そして、その流れまで行こうとして、焼けただれた人たちが、あとからあとから「水」「水う」と、はいずり回って手を差し伸べています。「水」「水」の声が、阿鼻叫喚にまじってひときわ高く聞こえます。

私ものどが渇きます。浅い流れに入り、死体を足で左右に分け、間にすわりました。水は私の膝すれすれです。もう夢中で水をすくい、息子に飲ませ私も飲みます。

ガラスの破片は雨で流れたものの、頭から体全体に無数の 傷が口をあけている息子も、息する間もないくらい、むさぼ るように水を欲しがります。

まわりには、男か女か見分けのつかないおとなや子どもたちがのたうちまわり、「水」「水を」と呻く声ばかり。でも私はその人たちに、1滴の水も飲ませてあげませんでした。

そのころ、私のすぐそばへ、小学校1年生くらいの14、5人の女の子を連れた、2人の女教師がやってくるなりばたばたと倒れました。と、その子たちを見た私は全身が凍りました。顔がない。逆立った頭の髪の毛の下に顔が見えない。ひきちぎれた皮膚が垂れ、目も鼻も口もわかりません。でも、声を出しています。

「先生、助けてえ」「先生、お水う」

仰向けに倒れた子は皮膚が裂け、それが指にからまって、両手を上に伸ばしてもだえ、うつぶせになった子は両手で川原の砂をかきむしりながら、断末魔の苦痛にあえぎあえぎ、どの子も「先生っ」「先生っ」と呼んでいます。

ひとりの先生が、どうにか起き上がりましたが、立つことはできません。両手をつき、よつん這いの格好で、子どもたちの声のする方へ、顔でない顔を向け、

「みんなね、学校に爆弾が落ちたんだから、すぐに迎えに来てくれますよ。でも、みんな大けがをしていて、顔がよくわからないから、大声で自分の名まえを言いなさい」

きれぎれに、やっとそれだけを言った先生も、それっきりでした。 先生の言ったとおり子どもたちは、めいめいが自分の名まえを 名乗り始めました。

「田中ケイ子よ、ここにいるよ」「山田とし子、私よ」彼女たちは名まえをとなえながら、「先生っ、助けてえ」「先生、お水飲ませてえ」と、言いつづけています。

私は自分の手で水をすくい、息子に飲ませたり、体にかけてやったり、それを無意識にくり返しながら彼女たちを見ているだけでした。私には、何の感情もありませんでした。

あの日、広島の人はみな、自分がいる場所に爆弾が落ちだと思い込んでいました。だから、けがをして逃げている自分を、家族のだれかが迎えにきてくれるものと待っていたはずです。1つの原爆で広島が飛散したなんて、だれもが想像さえし得なかったことです。

ふと気がつくと、水につかっている私の膝の上に、幼い女の子が腹ばいになり、身をのり出して、流れに顔をつけ水を飲んでいます。私のすぐ横に、お母さんらしい人の焼けただれた無惨な背中が見えます。幼い女の子、3つか4つくらいでしょうか。その子が自分の小さい両手で水をすくっては母親の口にはこんでいるのです。小さな小さな手ですから、すくった水は、すぐにしたたってしまいます。おそらくお母さんの口には、水は入らず、お母さんは女の子のぬれた手をなめるだけだったでしょう。

なんどもなんども、女の子はそれをくり返していましたが、それを目の前で見ている私は、幼い女の子に手をかすこともしませんでした。自分の手ですくう水は息子にだけ与えました。

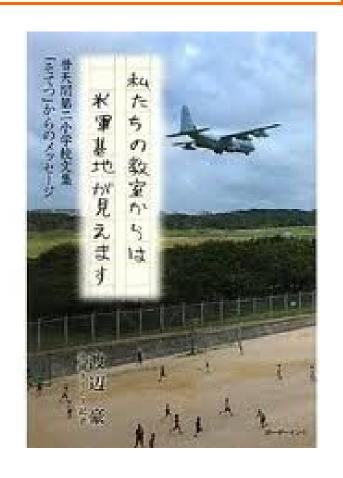
地獄となった三滝の川原で夜が明けたとき、私の 膝から幾度も母親に水をはこんでいた幼い女の子は、 ただれた背を私に見せたまま、すわった母親の腕か ら小さい顔を垂れて死んでいました。「先生、先 生」とどの子も先生を呼びつづけ、先生にいわれた とおり自分の名まえをとなえた、あの女生徒たちも みな死にました。

だれも迎えにはこなかったのです。私は、隣のご夫婦に助けられましたが、だれも助けませんでした。「鬼の目にも涙」といいますが、私は鬼ですらありませんでした。

「原爆」と言えば、「水」です。そのとき私は、 自分の手で水をすくい飲みました。だれにもあげないで――。水を飲む私を恨めしい目で見ながら死ん だ人たち、いまも私は、その人たちの怨念にしばられています。

私の被爆体験は、ただただ、あの日の懺悔でございます。私が生きている限りざんげしましても、あの日の非情な罪は許されるものではございません。

『私たちの教室からは米軍基地が見えます〜普天間第二小学校文集「そてつ」からのメッセージ』(渡辺豪、ボーダーインク、2011年)



「ゴォーツ。」「ゴォーツ。」 ものすごい音をたてて となりのマリン飛行場の ばかでかい飛行機が 教室の屋根すれすれに、飛んでいく。 三分たって やっと静かになった。 「さあ勉強だ。」 えんぴつをもったとたん 「ゴォーツ。」「ガガガッ。」 耳をつんざく ものすごい音。 先生の声が聞こえなくなる。 みんなの声も聞こえなくなる。 ぼくは、 「もうどうでもいいや。」 と、えんぴつをなげた。

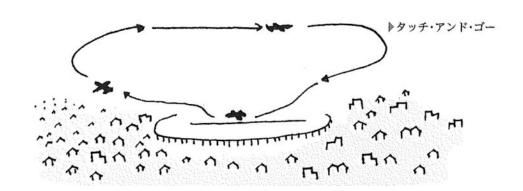


普天間基地をかかえる宜野湾市

宜野湾市ホームページより <2008年9月に宜野湾市に 寄せられた騒音の苦情>

9日(水) 22:00 嘉数4丁目 男性 ・嘉数4丁目に住む者ですが、昨日も 今日も21時過ぎに多分KC130だ と思いますが、タッチアンドゴーの訓練を繰り返しています。もう22時も 間近ですが先程から既に8回も訓練を 行っています。さらに昨日は22時半 過ぎにヘリが2機、南から北へ飛んでいきました。こんな状況は許せません。 早く何とかして下さい。

25日(木) 14:05 真栄原 男性 ・官野湾市真栄原に住んでいるもの ですが、最近の基地からの騒音は いったいなんなんでしょうか?今ま では、輸送機やヘリの音が多かった のに、ジェット機ですか?もの凄い 騒音がします。私と家内は心臓病を 患っています。近くには孫も住んで ます。孫もこのジェット機の音のせ いで、最近は昼寝ができなくて度々 泣いていて親も困っているそうです。 私たちは心臓発作が起きないかと毎 日ドキドキで余計心臓に悪いです。 静かに療養したいのにこれでは余計 に悪化します



22日(月) 14:35 大謝名2丁目 女性

・最近大山から大謝名2丁目に家を購入して引っ越し てきたんですが、毎日飛行機が家の上空を低空で飛ん でいきますが、ここはこんなもんなんですか?滑走路 の延長線上にあるようなので昼夜を問わずもの凄い音 がします(電話越しに騒音)。窓を閉めてもうるさく て、暑いので窓を開けるともっとうるさくて、どうし たらいいんでしょうか?子供達もびっくりしてしまっ て夜もゆっくり眠れません(雷話越しに騒音)。ア パートなどであれば、引っ越すことも可能ですが苦労 して家を購入したのにこれでは堪りません(電話越し に騒音)。そちらに電話して2、3分ですが今すでに 3回住宅上空を飛んでいきましたよ。聞こえてますよ ね?何曜日は飛ばないとかこの時間は飛ばないとか約 束はできないんでしょうか?約束しても守ってないん ですか?これから毎日私たちはこの騒音と生活しない といけなんですか?他の市民の方はどうやってこの騒 音と戦って居るんでしょうか?早くなんとか出来るよ うにお願いします。

日本の侵略戦争(1931年~1945年)におけるアジアの被害者の声

原発問題でも、福島の人びとの声が、 私たちをつき動かす原動力に。

人間として、「ゆるせない」もの、「ほっとけない」ことに

出くわすことがある。



「戦争体験者の証言を聴く、巨大な暴力によって、何も語ることが許されないままこの世から消された死者たちの記憶を掘り起こし、声を聴き出していく、そしてそれらを自分自身の身体と声と言葉で伝えていく実践をなぜ彼女らや彼らが選び取ったのか、という問いを発してみよう。

答は『たまたま』ということになるだろう。1人として、現在行なっている実践が、自分の生きてきた生活史や生育史の中で必然的だったとは語っていない。

…(略)彼女らや彼らは、偶然に戦争体験者やその証言、あるいは遺骨や遺品に直面したのだけれども、その未知との遭遇をしっかりと自分でつかみとり、対になってつれあってきたのであり、その中でなかまを増やしてきたのだ」

(小森陽一監修『戦争への想像カーいのちを語りつぐ若者たち』新日本出版社、 2008年) 14

「ふれた」瞬間と、そのあと。ここがポイント。

次の「場」と、「仲間」がいるか。

2.基本的人権の視点から

憲法13条

「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由 及び幸福追求に対する国民 の権利については、公共の 福祉に反しない限り、立法 その他の国政の上で、最大 の尊重を必要とする」

憲法14条

「すべて国民は、法の下 に平等であつて、人種、 信条、性別、社会的身分 又は門地により、政治的、 経済的又は社会的関係に おいて、差別されない」

憲法前文

われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と 欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利 を有することを確認する。

憲法22条

「何人も、公共の福祉 に反しない限り、居住、 移転及び職業選択の自 由を有する」



憲法25条

「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。 ②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」

福島第1原発の事故は、すべてを根こそぎ奪い去った。

憲法26条

「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」

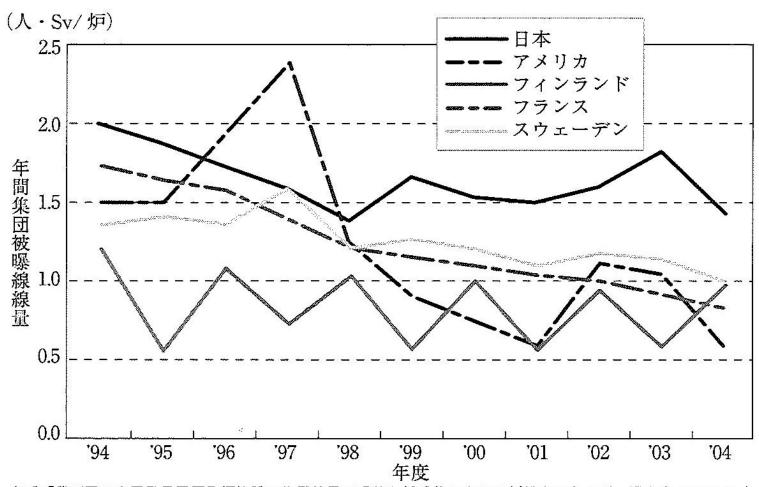
憲法27条

「すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。②賃金、就業時間、休息その他の勤労条件に関する基準は、法律でこれを定める」17

日本の原発は労働者の被曝量が高い

利益優先

図1 世界の実用発電用原子炉1基あたり集団線量の推移

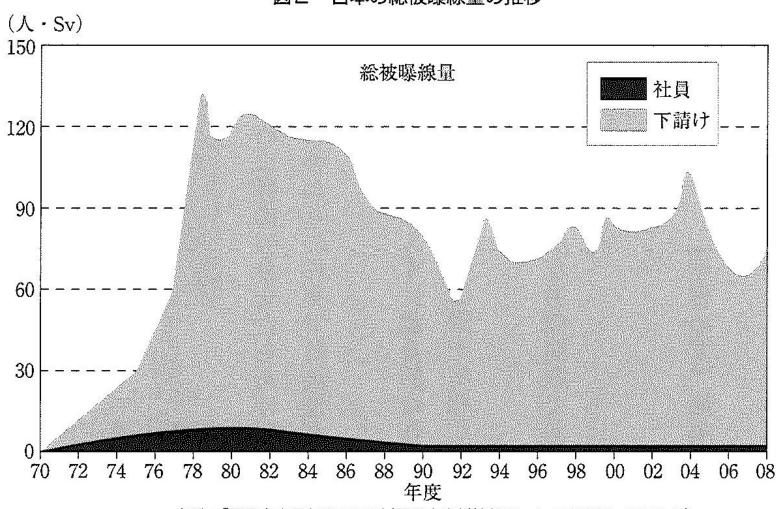


出所:「我が国の実用発電用原子炉施設の集団線量の現状と低減化に向けて」(総合エネルギー調査会、2011.1.)

被爆する原発労働者は圧倒的に非正規

命に格差

図2 日本の総被曝線量の推移



出所:『原子力市民年鑑 2010』(原子力資料情報室、七つ森書館、2010 年)

アメリカの基地は必要か?

安保条約(日米安全保障条約)・・・

(安保条約の正式名は「日本国とアメリカ合衆国との間の 相互協力及び安全保障条約」)

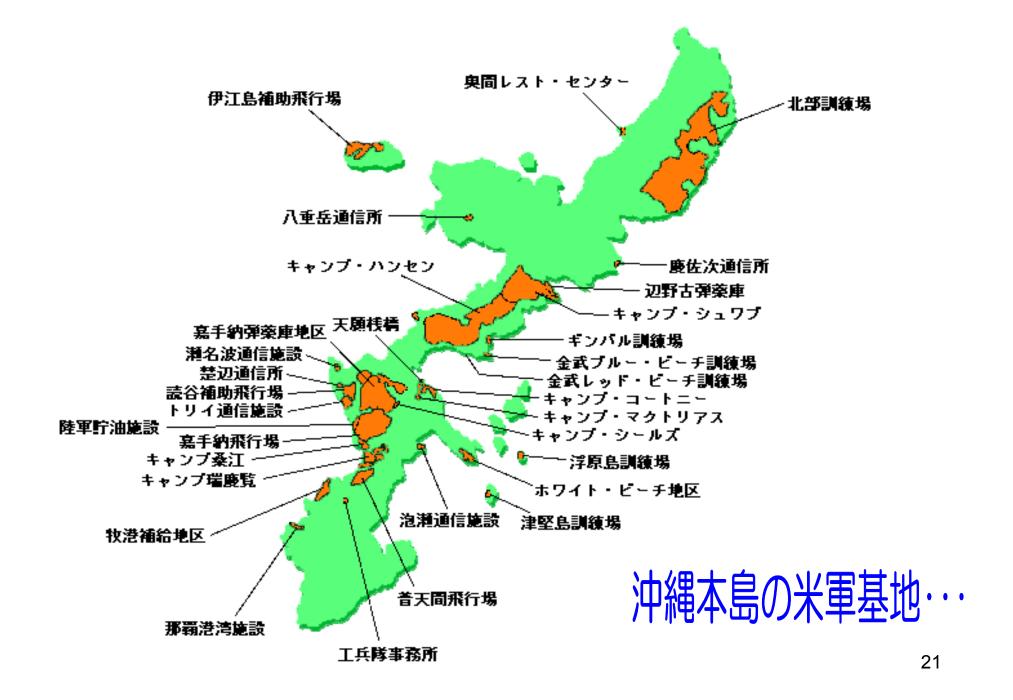
基地問題…





同盟関係・・・







2004年8月13日

宜野湾市、沖縄国際大 学構内に普天間基地の 米軍ヘリが墜落。

墜落直後から、大学は 米軍に占拠された。

市長も、日本の警察も、 大学関係者も、事故現 場には入れなかった。



金武町のキャンプ・ハンセン内を走る高速道路には、「流弾に注意!米軍実弾射撃訓練中」の看板が…。

繰り返される米兵による性犯罪

米兵による性犯罪は、戦争と政 治が生み出す構造的問題

- *世界で年間2,700件もの米兵による性的暴行事件(米国防総省2008年報告)
- ・米国社会全体の強姦事件の6倍以上の高い比率で発生
- ・この数字はあくまで被害者の申告にものづくものであり、実態はこの数字以上に深刻であることはいうまでもない。実際、この報告を発表した担当者は記者会見で「一般的に性犯罪は、被害者からの申告は5%程度である」と述べた。
- ・うち、基地外での一般市民にたいする米兵の性的暴行事件は36%。

今月18日にも、海兵隊による女性への性犯罪が発生。



参議院議員・糸数慶子さん提供写真

沖縄の海兵隊の特殊性

日米地位協定の屈辱

事故多発のオスプレイ配備・訓練計画が進行



低空飛行訓練とは何か?

3.安全保障はねばり強い外交努力で

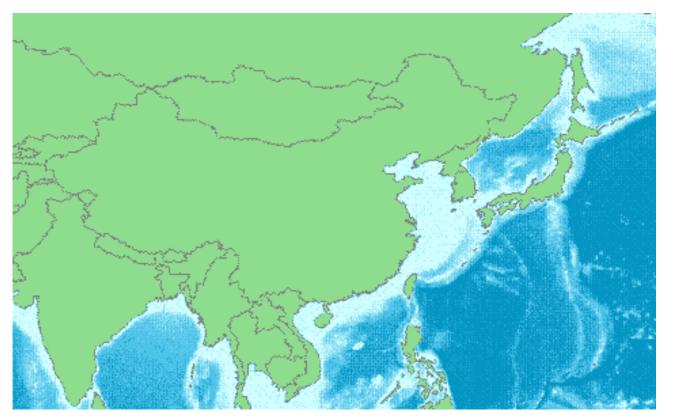


竹島



尖閣諸島

悪化する日中・日韓関係



東アジアのなかの日本

経済関係・ 文化関係の 深まり

日本にとって、 輸入・輸出と も中国が1位。



万が一にも、この地域で武力紛争が起きれば、物流は寸断され、大規模な混乱がもたらされることは明白。

この地域を支えているのが海運業。

軍事力に頼らない『平和的安全保障』は、理想論ではない。アジアの現実を直視すればするほど、これ以外にはない、もっとも現実的な道。

しかし、日本政府の対応は、軍事的緊張を高めるものや(自衛隊の軍隊化)、日米同盟の偏狭な視野からばかり。

「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起こること のないやうにすることを決意」

「われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる」



私たち1人ひとりが、アホな政治家を選ばない。 選挙に行く。

マスコミにだまされない、かしこい主権者になる。

東日本大震災・原発事故以後の変化。

行動する・表現する・つながる



6月29日、首相官邸前。大飯原発再稼働 反対を訴える、10数万の市民 30

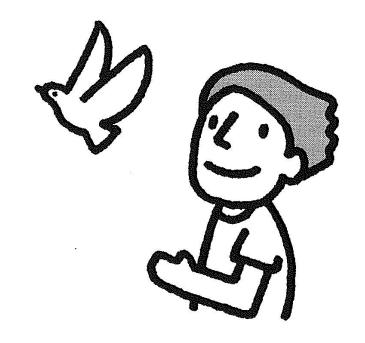
「誰かが変えてくれる」ではなく、

主権者はわたしたち。

憲法12条

「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、 国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」 「努力」の中身は多様。

あきらめない生き方。



おつかれさまでした。